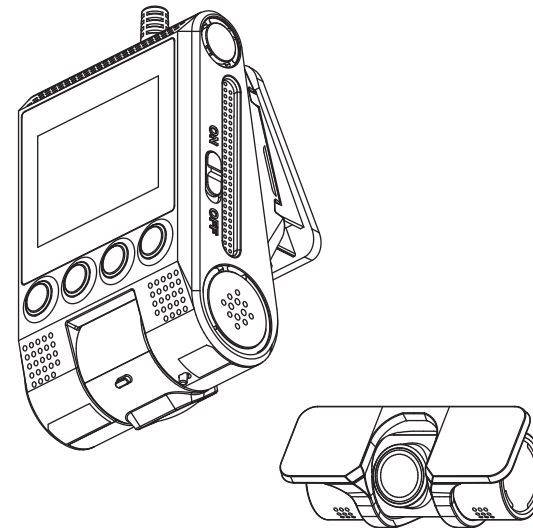


UPTY × KEIYO

ドライブレコーダー UP-SAFETY

取扱説明書
UP-E093

UPTY × KEIYO



20210818

ドライブレコーダーをご購入いただき、
ありがとうございます。

本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
特に“安全上のご注意”(P.4～6)“使用上のご注意”
(P.7～16)はご使用前に必ずご一読ください。

本製品の仕様(外観、付属品、ビューア画面等)は、改良の
ため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

CONTENTS

安全上のご注意	4
使用上のご注意	7
製品の構成	18
各部名称	19
電源のオン/オフ	24
microSDカードの挿入、取り出し方法	25
車両への設置	26
録画方式	32
録画時間	36
録画ファイルとタイムギャップ	38
フォルダ/ファイル構成	39
LED表示	40
録画先のフォーマット	42
内蔵メモリー映像のコピー	44
ファイルの再生	46
メニュー	48
ソフトウェアのアップデート	53
アプリ	54
専用ビューア	64
製品仕様	74
保証書	76

安全上のご注意

- ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項または、警告事項は安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。記載されている注意、警告事項は危険な状況をすべて網羅しているわけではありません。使用に際しては十分に注意してください。
- 取扱説明書は保証書と一緒にお使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

警告

誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

誤った取り扱いをすると人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

取り付け、配線について

警告

- **DC12/24V マイナスアース車以外で使用しない**
DC12/24V マイナスアース車以外で使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- **エアバッグシステムの動作を妨げる位置には絶対に取り付け、配線をしない**
エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグの衝撃で製品や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。
- **視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けけない**
運転操作を妨げる場所：ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルの近くなど。
交通事故やけがの原因となります。
- **取り付けやアース配線に保安部品を使わない**
保安部品：ステアリング、ブレーキ系統、燃料タンクなどのボルトやナット類など。
制御不能や発火、交通事故の原因となります。

安全上のご注意

警告

- **車両メーカーが指定する禁止エリアに取り付けや配線をしない**
カメラやセンサーなどの車両装置の動作を妨げる恐れがあり、交通事故の原因となります。禁止エリアは車両メーカーにお問い合わせください。
- **取り付け、配線は安全のため専門業者に依頼する**
取り付け、配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするに重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの専門業者にご相談ください。
- **配線作業中はバッテリーのマイナス端子を外す**
マイナス端子を外さずに作業すると、ショート事故による感電やけがの原因となります。
- **正規の接続をする**
誤った接続をすると火災や事故、故障の原因となります。
- **コード類は取り付け説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないように固定する**
ステアリングやブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。
- **車体やねじ部分、シートレールなどの可動部に配線を挟み込まない**
断線やショートにより火災や故障、感電の原因となります。
- **コード類の配線は高温部を避けて行う**
コードの被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。




注意

- **水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所には取り付けけない**
水や油煙などが入ると発煙や火災、故障の原因となります。
- **振動の多い場所や不安定な場所には取り付けけない**
走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。
- **付属の電源ケーブルを使用する**
付属品以外の電源ケーブルを使用すると、火災や感電の原因となります。また、電源ケーブルの改造は行わないでください。


安全上のご注意

使用について

警告

-  ● **本機を分解、改造しない**
火災や感電、故障、データ損失の原因となります。
分解、改造が故障の原因と認められた場合、保証は適用されません。
-  ● **運転中に操作しない**
交通事故やけがの原因となります。
必ず安全な場所へ車を停車させ、パーキングブレーキをかけた状態で操作を行ってください。
- **機器内部に水や異物を入れない**
金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。
-  ● **故障や異常な状態のまま使用しない**
万一煙が出る、変なにおいがする、内部に異物が入った、水がかかったなどの場合はただちに使用を中止してください。そのままご使用になると事故や火災、感電の原因となります。お買い上げの販売店、もしくは弊社サービスにご相談ください。
- **ヒューズは必ず規定容量品を使用する**
ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量品と交換してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると火災の原因となります。

注意

-  ● **本機を車載用以外には使用しない**
火災や感電、故障、けがの恐れがあります。

使用上のご注意

- ほかの無線機やテレビ、テレビチューナー、ラジオ、パソコン、GPSなどの近くで使用すると、影響を受けたり与えたりすることがあります。
- 本機を高温、及び低温に長期間放置しないでください。
 - ・一定以上の高温下、低温下では異常な動作をする場合があります。
 - ・結露のない状態でご使用ください。
- レンズは常に清潔な状態でお使いください。
 - ・レンズが汚れますと画質が低下します。
 - ・お手入れはレンズクロスなどで拭いてください。
- 長時間使用する場合、通風しを良くしてください。
 - ・本体の温度が上昇し、変形や故障の原因になることがあります。
- バイザーはゆっくり下げてください。
 - ・本体に接触してカメラの向きが変わる可能性があります。
- 本機の掃除やお手入れの際には、水、ワックス、その他の洗剤をかけないでください。
 - ・故障や感電を引き起こす可能性があります。
- 本機で録画した映像はプライバシーや著作権の侵害など、法や条例に接触しないよう注意してご利用ください。
- 本機は本来の使用目的以外ではご使用にならないでください。
- 本機は日本仕様です。海外ではご使用になれません。

使用上のご注意

使用できるmicroSDカードについて

本書では特にことわりのない限り「microSDHCカード」、「microSDXCカード」を「microSDカード」と総称して表記しています。

本機では下記のSD規格に準拠したmicroSDカードに対応しています。下記以外のmicroSDカードは使用できません。

・microSDHCカード

容量：8～32GB、スピードクラス：CLASS10以上

※8GBのmicroSDカードは内蔵メモリーのコピー用にのみ使用できます。録画用として使用できるmicroSDカードは16GB以上です。

・microSDXCカード

容量：64GB、スピードクラス：CLASS10以上

※microSDXCカードを使用する場合は、初めに本機でフォーマットを行ってください。

⚠ microSDカードの注意事項

- 本機でお使いいただくmicroSDカードは、本機専用としてお使いください。
- 本機で使用中のmicroSDカードを他の用途で使用すると正常に動作、録画ができない場合があります。
- 他の機器で使用したmicroSDカードを使用する場合は本機でフォーマットを行ってください。
- microSDカードは分解、改造、その他加工はしないでください。
- 定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうかご確認ください。
- 安心してお使いいただくため、定期的にフォーマットしていただくことをお勧めします。
- 大切なデータはパソコンや他の記録メディアなどに保存（コピー）してください。
- microSDカードは消耗品です。定期的に新しいmicroSDカードに交換することをお勧めします。

使用上のご注意

microSDカードについて

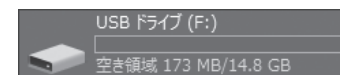
本機で使用するmicroSDカードは専用のファイルシステムとなっています。PCなど他の機器でフォーマットされたmicroSDカードを挿入すると、本機で専用のファイルシステムに書き換えを行うため、保存されているデータが削除されます。ご注意ください。

※8GBのmicroSDカードは内蔵メモリーのコピー用にのみ使用できません。録画用として使用できるmicroSDカードは16GB以上です。

パソコンでの表示容量について

専用のファイルシステムとなっているため、録画用microSDカードをパソコンに接続した際、録画ファイル数が少なくても使用領域が多く表示されます。

録画用microSDカードの表示例



内蔵メモリーコピー用microSDカードの表示例



使用上のご注意

内蔵メモリーについて

内蔵メモリー（eMMC）はデータの書き換え回数が多い方式を採用していますが、上限（寿命）があります。

書き換え回数の上限が近くなると画面にメッセージが表示され、録画ができなくなります。

メッセージが表示された場合は、録画先をmicroSDカードに変更してください。録画用として使用できるmicroSDカードは16GB以上です。

録画先をSDカードに変更して下さい。

16GB以上のSDカードが必要です。

⚠ 内蔵メモリーの注意事項

- 定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうかご確認ください。
- 安心してお使いいただくため、定期的にフォーマットしていただくことをお勧めします。
- 大切なデータはパソコンや他の記録メディアなどに保存（コピー）してください。

使用上のご注意

電源が入ったままの状態でもmicroSDカードの抜き差しを行うと録画されたファイル、またはmicroSDカードが壊れてしまうなど、ドライブレコーダーが正常に動作しなくなる場合がありますので下記手順をお守りください。

microSDカードの抜き差し手順

<microSDカードの抜き方>

1. ドライブレコーダーの電源をオフにして、LEDが消灯したことを確認します。
2. ドライブレコーダーからmicroSDカードを取り出します。microSDカードを軽く押し込み、少し飛び出してから引き抜きます。

<microSDカードの挿し方>

本体の電源が切れている状態でmicroSDカードを挿入します。microSDカードの向きに注意して、カチッと音がするまで挿入してください。

使用上のご注意

保証範囲

- 本製品は事故などで衝撃のあった時点で録画するイベントレコーダーではありません。
- ドライブレコーダーは、すべての状況において映像を録画することを保証するものではありません。録画ファイルの間にはタイムギャップ(無録画時間)が存在します。
- 録画された映像は事故を起こした場合の示談交渉や法的手続きにおいて参考録画としてご利用いただけますが、直接的証拠として保証されるものではありません。
- 本製品は安全運転補助装置であり、故障による損害、データ損失による損害、その他の本製品を使うことにより発生する損害に対して弊社は責任を負いません。
- 本製品は車の状態や車両事故などで製品が破損したり、内蔵メモリーやmicroSDカードの問題で録画ができない場合もあり、それらにより生じる損害に対して弊社は責任を負いません。
- 車両運行前に製品の動作状態をご確認ください。

次の場合は故障ではありません

- LEDの信号機やテール/ストップ/ウィンカーランプは録画した映像で点滅、または消灯したように映る場合があります。
- 動作中に再起動し、「常時録画を開始します」のアナウンスがあることがあります。
- Gセンサーは衝撃の方向によって検知が異なるため衝撃検知録画ファイルが生成されない場合があります。

使用上のご注意

⚠ GPS 信号受信の注意事項

- GPS 衛星は米国政府によって運用されている測位システムです。
- 初めてご使用になるときや長い間電源を入れていなかったときなど、内部の二次電池が充電されていない場合、GPS 衛星から信号を受信し位置を測位するまで長時間かかる場合があります。
- GPS 衛星からの信号を受信できない場所（トンネルや地下、ビル等に囲まれた場所など）では、位置情報が記録されません。
- 受信環境によって位置の測位に時間がかかる場合や、位置情報にズレが生じることがあります。
- 熱線反射タイプ、または熱線吸収タイプのフロントガラスには電波を通さないものがあり、GPS 衛星から信号を受信できない場合があります。フロントガラスの種類、電波透過性の詳細については販売店やカーディーラーにお問い合わせください。

使用上のご注意

無線LANについて

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。(証明を受けた部品を使用しています)したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・ 分解/改造すること。
- ・ 本機に貼付されている認証表示(適合マーク及び認証番号)をはがすこと。

- 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上の注意事項

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。

使用上のご注意

無線LANについて(つづき)

- 鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんで本機とスマートフォンを接続すると電波を遮ってしまい、映像や音声途切れたり、接続できなくなる場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。

- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。

・ 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して映像や音が途切れることがあります。

・ ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。映像や音声にノイズがのることがあります。

- 無線LANは電波を利用して情報のやりとりを行うため、第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。情報を受信されたくない場合はこの機能を使用しないでください。無線LANをご使用になる場合は、本機のSSID・パスワードの設定を変更してからお使いいただくことを推奨します。本機能を使用したことでセキュリティ上の問題、損害が発生した場合、弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

- 次の記載は、本機が2.4GHz帯を使用し、変調方式としてDS-SS方式およびOFDM変調方式を採用、想定される干渉距離は40mであることを示します。また、周波数変更の可否として、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示します。

2.4 DS/OF 4

- 2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
- DS/OF : DS-SS方式およびOFDM方式を表します。
- 4 : 想定される干渉距離は40mです。
- ■ ■ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

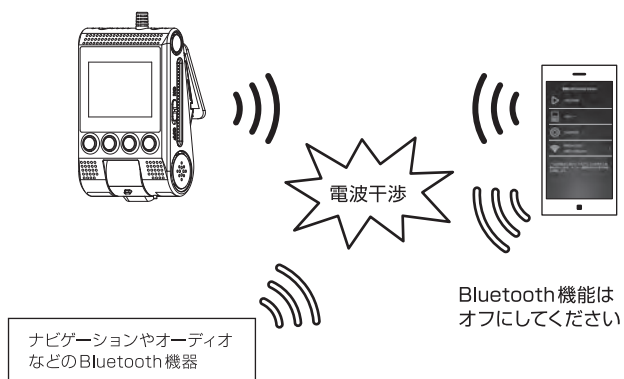
使用上のご注意

Bluetooth機器との電波干渉について

ドライブレコーダーの無線LAN機能とBluetooth機器は同じ周波数帯(2.4GHz)を使用するため、同時に使用すると電波干渉が発生し、通信障害や接続不能の原因になる場合があります。

スマートフォンのアプリ上でドライブレコーダーの録画映像を確認するときなど(⇒P.57)、同時にBluetooth機能を使用していると電波干渉により映像や音声途切れたり再生できないことがあります。

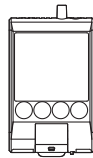
ドライブレコーダーの無線LAN機能を使用する場合はスマートフォンのBluetooth機能をオフにしてください。



MEMO

製品の構成 (同梱品一覧)

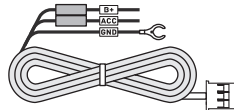
ご購入後、同梱品をご確認ください。



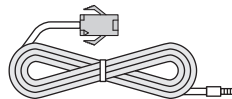
ドライブレコーダー 本体
(ブラケット取り付け済み)



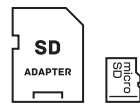
リアカメラ



電源ケーブル (3m)



リアカメラケーブル (8.5m)



SDカードアダプター
microSDHCカード 16GB

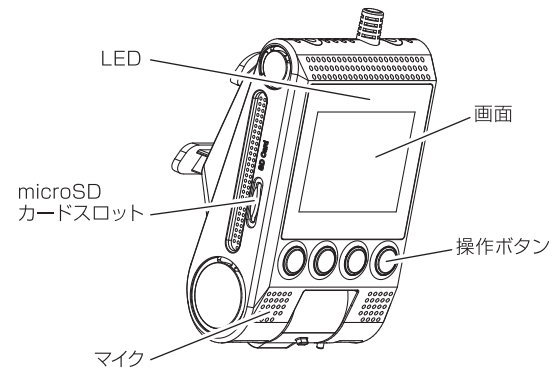
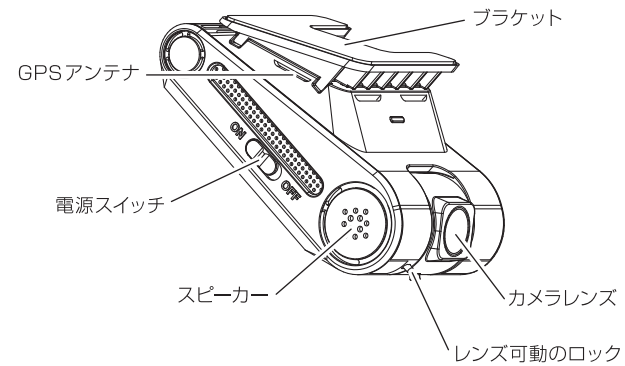


取扱説明書 (保証書付き)

ビューソフトは弊社ホームページよりダウンロードしてください。
(⇒P.65)

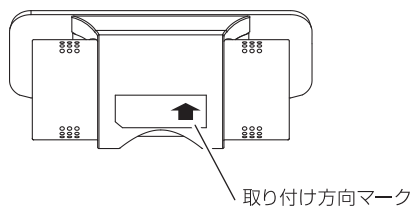
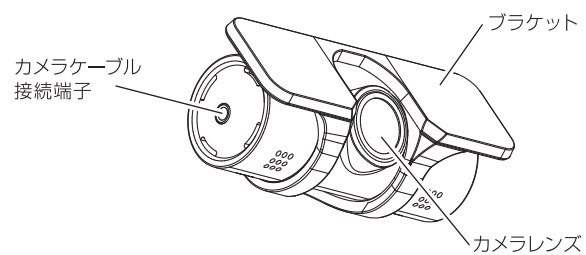
各部名称

■ 本体 (フロントカメラ)



各部名称

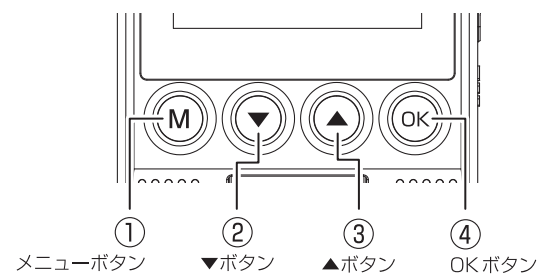
■ リアカメラ



各部名称

■ 操作ボタン

4つのボタンの機能は表示している画面によって異なります。



● 録画画面

- ① メニュー画面表示
- ② フロント/リアカメラ映像の切り替え
- ③ 音声録音 オン/オフの切り替え
- ④ 手動録画の開始

● メニュー画面 (⇒P.48)

- ① 前の画面に戻る
- ② カーソルの下移動
- ③ カーソルの上移動
- ④ 決定

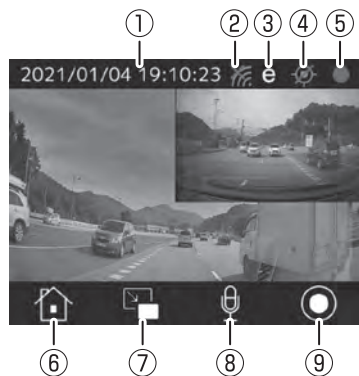
● 再生画面 (⇒P.46)

- ① 前の画面に戻る
- ② 巻き戻し
- ③ 早送り
- ④ 再生 / 一時停止

各部名称

■ 録画面面

本機の動作状態を表示します。



- ① 現在の日付と時刻
- ② 無線 LAN 状態
オフのときは斜線が表示されます。
- ③ 録画先
e : 内蔵メモリー
S : microSD カード
- ④ GPS 受信状態
受信できないときは斜線が表示されます。
- ⑤ 録画中
- ⑥ メニュー表示
- ⑦ 表示中のカメラ映像
F : フロントカメラ
R : リアカメラ

各部名称

■ 録画面面 (つづき)

- ⑧ 音声録音状態
オフのときは斜線が表示されます。
- ⑨ 録画状態
◆ 衝撃検知録画中
● 手動録画中
○ 常時録画中

■ 時計画面

設定した時間、操作がないと時計画面を表示します。(時計表示⇒P.51)



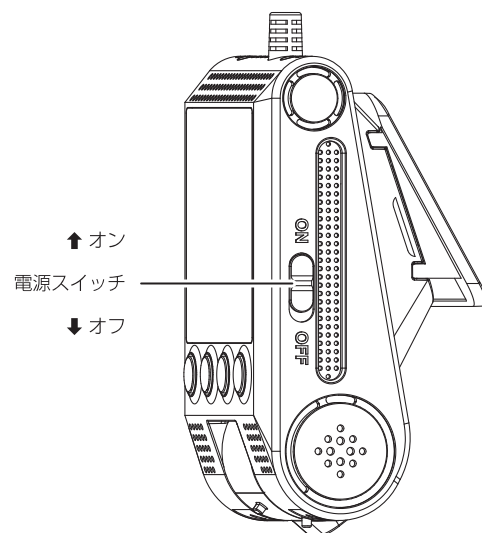
- ① 現在の日付と時刻
- ② GPS 受信状態
- ③ 音声案内状態
- ④ 音声録音状態
- ⑤ 電源電圧
- ⑥ 録画状態
※手動録画、イベント録画時には⑤電源電圧表示と切り替わります。

電源のオン/オフ

電源ケーブルを接続し、本機の電源スイッチがオンの場合、車両のエンジンを始動（ACCオン）すると本機の電源がオンします。
エンジンを停止（ACCオフ）すると本機の電源がオフします。

● 本体での操作

電源スイッチをスライドさせてオン/オフします。
※エンジン停止（ACCオフ）のときは手動で電源をオンにできません。

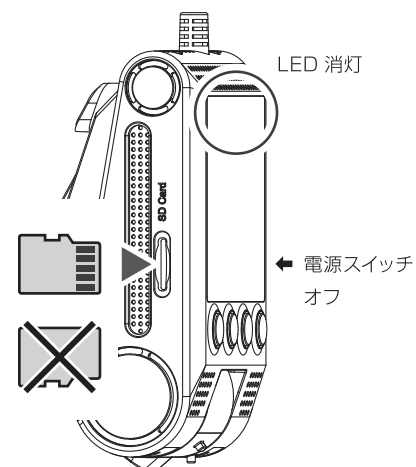


microSDカードの挿入、取り出し方法

microSDカードの抜き差しを行う場合は、必ず本体の電源をオフにし、LEDが消灯していることを確認してから行ってください。

● microSDカードの挿入

microSDカードは下図の向きでカチッと音がするまで挿入します。



● microSDカードの取り出し

microSDカードを取り出すときは、軽く押し込み、少し飛び出してから丁寧に引き抜きます。

※ 無理な力で行うと破損の原因になります。

microSDカードの挿入、取り外し時は落下、紛失にご注意ください

車両への設置

■ 取り付けの前に…

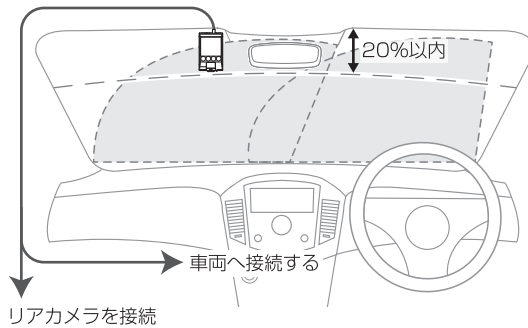
取り付け作業を行う前に「安全上のご注意」を再確認し、必ずお守りください。
また、取り付け時の注意に従い作業を行ってください。

⚠ 配線作業中はバッテリーのマイナス端子を外してください

取り付け時の注意

- ドライブレコーダー本体は必ずフロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- ドライブレコーダー本体はワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- 視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 検査標章などを避けて取り付けてください。
- 添付の両面テープは再接着できません。
ブラケットを仮止めし、映像を記録・再生するなどして取り付け位置をよく確認してください。
- ケーブルは運転の妨げにならないようテープやクランプで固定するなどしてください。

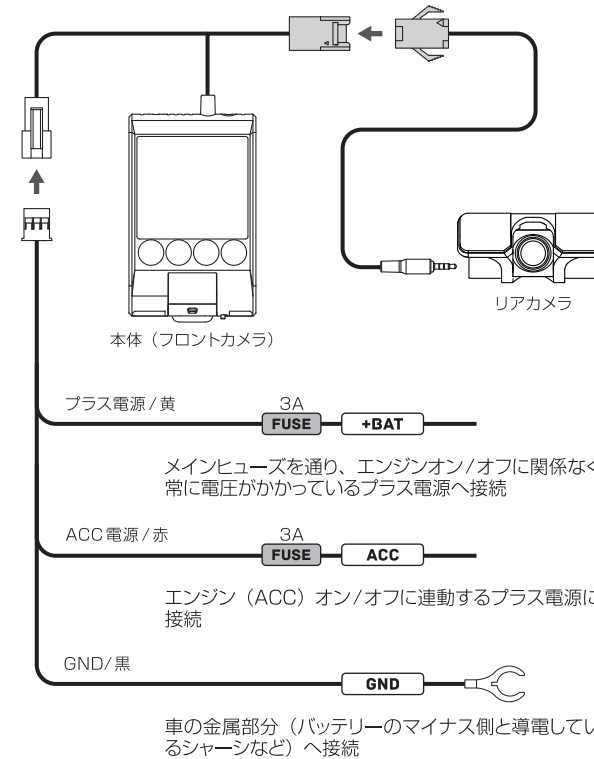
■ 取り付けイメージ



車両への設置

■ ケーブルの接続と配線

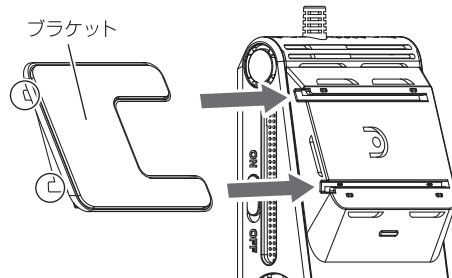
電源ケーブルとリアカメラを接続します。
※駐車録画機能を使用する場合は設定が必要です。(⇒P.49)



車両への設置

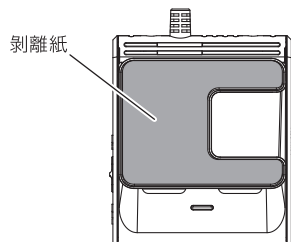
■ ブラケットの取り付け

本体のレール部にブラケットを取り付けます。
※ブラケットはレールの奥までしっかりと入れてください。



■ 本体の取り付け

1. 取り付け時の注意に従い適切な位置を決め、フロントガラスの汚れや脂分をきれいに拭き取ってください。
2. 本体の取り付け位置を決めたら両面テープの剥離紙を剥がし、ブラケットをフロントガラスにしっかりと貼り付けます。

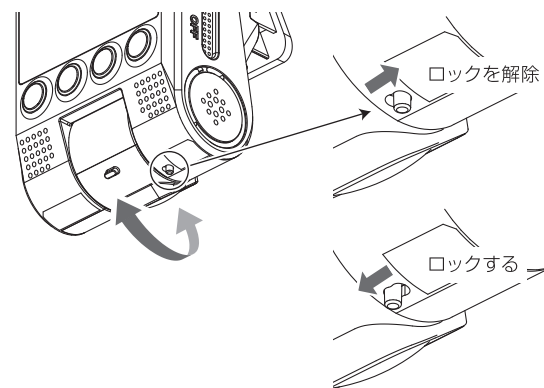


※添付の両面テープは再接着できません。
本体を仮止めし、映像を記録・再生するなどして取り付け位置をよく確認してください。

車両への設置

■ 本体の取り付け（つづき）

3. 「接続方法」を参照して配線をします。(⇒P.26～27)
4. レンズ可動のロックを解除し、レンズの向きを調整します。
本体のレンズ面が路面に対して垂直になるように角度を調整します。



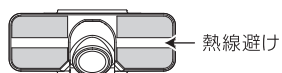
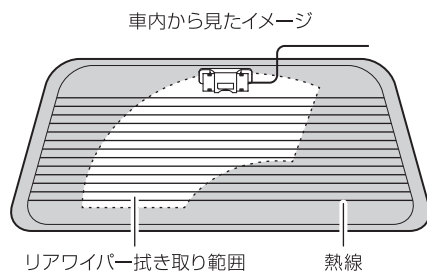
5. 角度が決まりましたらレンズが動かないようロックします。

車両への設置 (リア)

■ 取り付けの前に

リアガラスに熱線がある場合は、熱線に取付ブラケットの両面テープを貼り付けしないでください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。

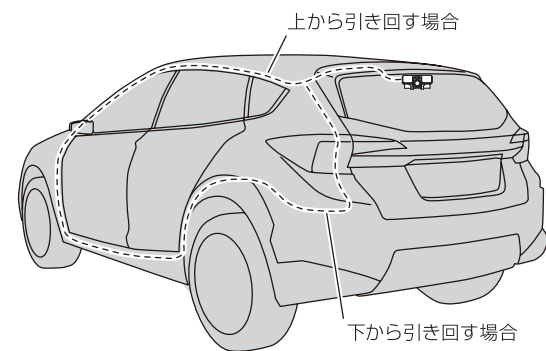
※ブラケットに貼られている両面テープには、熱線避けるための隙間があります。



※リアカメラは防水仕様ではありません。車内へ取り付けてください。
※リアガラスにフィルムが貼られている場合、フィルムの上から取付けると、衝撃を受けた際にフィルムごと外れる可能性があります。本機を使用する場合は、フィルムを貼らないでください。

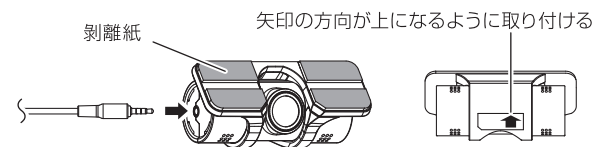
車両への設置 (リア)

■ ケーブの引き回し例



■ リアカメラの取り付け

1. 「取り付け時の注意」に従い適切な位置を決め、リアガラスの汚れや脂分をきれいに拭き取ってください。
2. リアガラスの取り付け位置を決めたら両面テープの剥離紙を剥がし、ブラケットをリアガラスにしっかりと貼り付けます。
※添付の両面テープは再接着できません。
本体を仮止めし、映像を記録・再生するなどして取り付け位置をよく確認してください。
3. リアカメラケーブルを接続して、カメラレンズの向きを調整します。



録画方式

録画方式は常時録画、手動録画、衝撃検知録画、駐車録画があります。

● ファイル名

ファイル種類＋録画した年月日、時分秒の組み合わせで作成します。
※録画ファイル構成についてはP.39をご確認ください。

NORM YYMMDD-hhmmss F.MP4



1. 常時録画

本機は車両のエンジンを始動、またはACCがオンし、電源が入ると自動的に常時録画を開始します。

1つの録画ファイルは約60秒で作成されます。



保存フォルダ：NORML
ファイル名：NORM YYMMDD-hhmmss F.MP4

録画方式

2. 手動録画

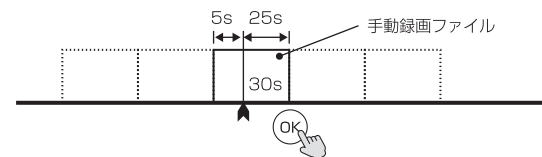
常時録画中に「OK」ボタンを押すと手動録画ファイルを作成します。

ボタンが押されたタイミングから前5秒、後25秒、計30秒間を1つのファイルとします。

手動録画ファイルを作成後、常時録画に戻ります。

※手動録画中はボタン操作はできません。

※手動録画中に衝撃を検知すると衝撃検知録画を行います。



保存フォルダ：MANUAL
ファイル名：MANU YYMMDD-hhmmss F.MP4

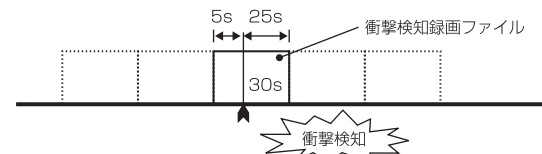
3. 衝撃検知録画

常時録画中、または手動録画中にGセンサーが衝撃を検知すると衝撃検知録画ファイルを作成します。

検知したタイミングから前5秒、後25秒、計30秒間を1つのファイルとします。

衝撃検知録画ファイルを作成後、常時録画に戻ります。

※衝撃検知録画中はボタン操作はできません。



保存フォルダ：EVENT
ファイル名：EVEN YYMMDD-hhmmss F.MP4

録画方式

4. 駐車録画（動体検知/衝撃検知）

駐車録画の注意

- 駐車録画機能を使用するには設定が必要です。(⇒P.49)
- 電圧、オフタイマーの設定を行ってください。(⇒P.50)
- 本体の電源スイッチで電源をオフにしたときは動作しません。
- 駐車モード中は車両バッテリーを使用するため、車両バッテリーへの負担がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行ってください。
- バッテリーの充電状態や劣化などにより起動しない場合や、動作を停止する場合があります。
- 本機の温度が動作温度範囲 (-10℃～ 60℃) を超えると動作を停止する場合があります。
- 車両のバッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

車両のエンジン停止 (ACC オフ) すると駐車モードになります。

駐車モードへの移行中はLED表示のRECが点滅します。

駐車モード中はGセンサーによる衝撃検知、カメラによる動体検知の監視を行います。

衝撃/動体を検知すると駐車録画ファイルを作成します。

検知したタイミングから前5秒、後25秒、計30秒を1つのファイルとします。

駐車録画ファイルを作成後、監視状態に戻ります。

バッテリー電圧低下、またはオフタイマーの設定時間経過後に駐車モードを終了します。

駐車モード中にエンジン始動 (ACC オン) を検出すると常時録画へ移行します。

録画方式

4. 駐車録画（つづき）

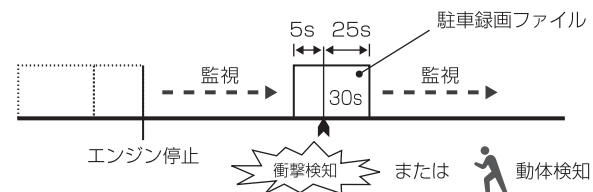
※無線LAN機能はオフになります。

※動体検知はフロントカメラ、リアカメラの両方で検知します。

※駐車録画を行った場合、次回起動時に件数が表示されます。

※駐車モード中は画面表示がオフになり、映像は表示されません。

LED表示のRECは点灯、GPSは受信している場合に点灯します。



保存フォルダ : PARKING

ファイル名 : PARK YYMMDD-hhmmss F.MP4

録画時間

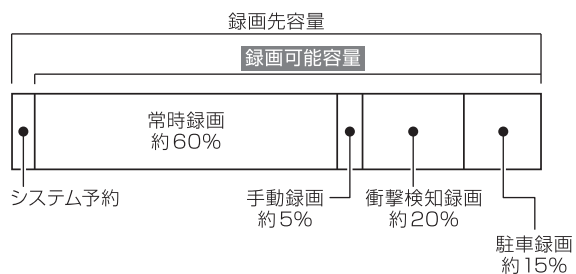
■ 録画可能容量について

microSDカードに録画できる容量は、録画方式によってそれぞれの容量が決まられています。

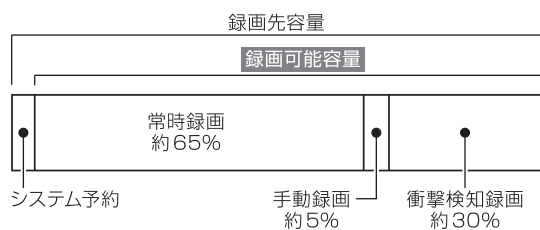
microSDカードの容量から、システム予約を引いた残りが録画可能容量となります。

駐車モード オン/オフで録画方式に割り当てられる容量が変わります。

● 駐車モードがオンのとき



● 駐車モードがオフのとき



録画時間

■ 録画時間の目安

録画時間は目安です。映像の状況、録画環境によって変動します。

● 駐車モードがオンのとき

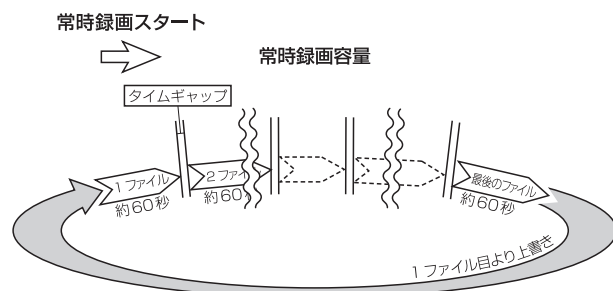
録画先	常時録画	手動録画	衝撃検知録画	駐車録画
内蔵メモリ 32GB	約145分	約10分	約42分	約32分
microSDカード 16GB	約72分	約5分	約20分	約15分
microSDカード 32GB	約145分	約10分	約42分	約32分
microSDカード 128GB	約320分	約20分	約135分	約68分

● 駐車モードがオフのとき

録画先	常時録画	手動録画	衝撃検知録画	駐車録画
内蔵メモリ 32GB	約155分	約10分	約65分	
microSDカード 16GB	約80分	約5分	約32分	
microSDカード 32GB	約155分	約10分	約65分	
microSDカード 128GB	約320分	約20分	約135分	

録画ファイルとタイムギャップ

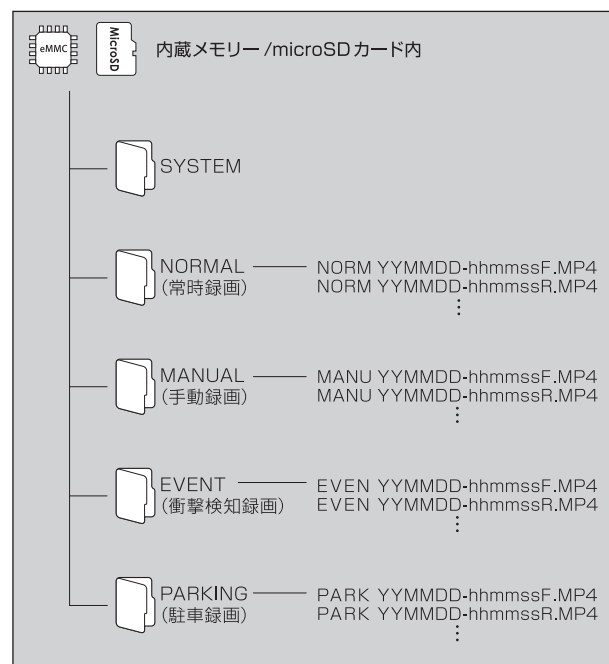
- 常時録画中は約60秒毎に録画ファイルが作成されます。録画先の常時録画容量がいっぱいになった場合は、古いファイルから順次上書きされます。



- ※録画時間が60秒に満たない状態で電源を切った場合には、その時点までのファイルが作成されます。
- ※常時録画中に手動録画、衝撃検知録画があった場合には、ファイル名が変更されます。
- ※大切なファイルは上書きされないよう他の記録メディアなどに保存（コピー）してください。

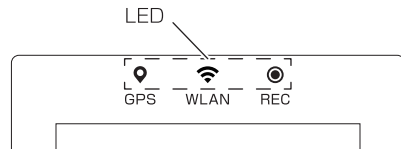
- タイムギャップ(ファイル間の無録画時間)は理論上約0.1秒あります。ファイルの録画完了から新しいファイルに録画を開始するまでにタイムギャップが発生します。タイムギャップ時のタイミングで衝撃が発生した場合、録画はできません。
※データ保存のためには電源を切り、LEDが消灯してからmicroSDカードを抜き取ってください。
※実際のタイムギャップは約0.1秒より短くなる場合があります。

フォルダ/ファイルの構成



- ※駐車録画用のPARKINGフォルダは駐車モードをオンにした場合に作成されます。

LED表示



MEMO

■ 録画時

○ 点灯 ◌ 点滅

GPS	WLAN	REC	説明
○	—	—	GPS 受信 (測位) 時
—	—	○	録画中

■ その他の動作

○ 点灯 ◌ 点滅

GPS	WLAN	REC	説明
○	—	—	電源オン時
—	—	◌	録画準備中
—	—	◌	microSDの未挿入
—	◌	—	無線LANオン時
○	—	—	ファームウェアアップデート
○	—	○	↓ 進行中
○	—	—	↓ アップデート完了

録画先のフォーマット

録画先は専用のファイルシステムに書き換える必要があります。

録画映像は定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうか確認してください。

安心してお使いいただくため、定期的に録画先のフォーマットを行うことをお勧めします。

※フォーマットを行うとすべてのデータが削除されます。大切なファイルは他の記録メディアなどに保存（コピー）してください。

⚠ microSDカード使用時のご注意

※フォーマットは必ず本機で行ってください。

※本機でお使いいただくmicroSDカードは、本機専用としてお使いください。

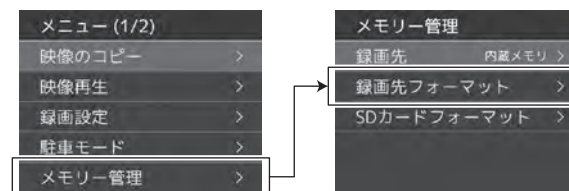
※本機で使用中のmicroSDカードを他の用途で使用すると正常に動作、録画ができない場合があります。

※他の機器で使ったmicroSDカードを使用する場合は本機でフォーマットを行ってください。

録画先のフォーマット

■ 録画先をフォーマットする

1. 「M」ボタンを押し、メニューを表示させます。
2. 「メモリー管理」を選択し、「OK」ボタンを押します。
3. 「録画先フォーマット」を選択し、「OK」ボタンを押します。
4. 「はい」を選択し「OK」ボタンを押します。
※フォーマットは途中で中止することができません。操作には充分ご注意ください。
※フォーマットが完了するまでmicroSDカードを抜いたり、電源をオフにしないでください。内蔵メモリーやSDカードが故障するおそれがあります。
5. フォーマット後、再起動します。



内蔵メモリー映像のコピー

内蔵メモリーに保存された映像をmicroSDカードにコピーすることができます。

内蔵メモリー内の映像を専用ビューアやパソコンで再生するにはmicroSDカードにコピーしてください。

※microSDカードから内蔵メモリーへのコピーはできません。

※8GBのmicroSDカードは内蔵メモリーのコピー用にのみ使用できません。録画用として使用できるmicroSDカードは16GB以上です。

映像のコピー用に使用するmicroSDカードは本機でフォーマットする必要があります。

※本機でフォーマットされたmicroSDカードでも、取り出したり、電源をオン/オフすると再度フォーマットする必要があります。

microSDカード使用時のご注意

※フォーマットは必ず本機で行ってください。

※本機でお使いいただくmicroSDカードは、本機専用としてお使いください。

※本機で使用中のmicroSDカードを他の用途で使用すると正常に動作、録画ができない場合があります。

※他の機器で使用したmicroSDカードを使用する場合は本機でフォーマットを行ってください。

■ 内蔵メモリーの映像をコピーする

あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1. 「M」ボタンを押し、メニューを表示させます。
2. 「映像のコピー」を選択し、「OK」ボタンを押します。
3. 「最新映像」、「フォルダ」、「ファイル」からコピーする内容を選択し、「OK」ボタンを押します。

※コピーが完了するまでmicroSDカードを抜いたり、電源をオフしないでください。内蔵メモリーやSDカードが故障するおそれがあります。

内蔵メモリー映像のコピー

● 最新映像

・最新5分/15分/30分
内蔵メモリーに最後に録画された映像から5～30分前までの映像をmicroSDにコピーします。

・SDカード容量内
内蔵メモリーに最後に録画された映像からmicroSDカードの容量に収まるまでの映像をコピーします。
※新しい日時（最新）のファイル名から順にコピーします。容量を超えた映像はコピーされません。

● フォルダ

フォルダ単位でmicroSDカードにコピーします。
コピーするフォルダを選択します。

※新しい日時（最新）のファイル名から順に、microSDカードの容量に収まるまでの映像をコピーします。容量を超えた映像はコピーされません。

● ファイル

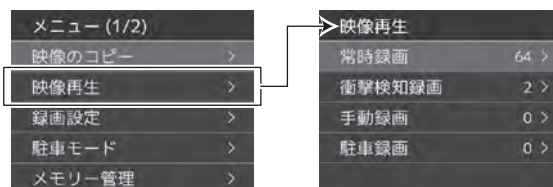
ファイル単位でmicroSDカードにコピーします。
フォルダからコピーするファイルを選択し、「OK」ボタンで再生して確認します。
再生中に「OK」ボタンを押すとコピーできます。

ファイルの再生

本機で録画した映像を再生します。
(専用ビューアでの再生方法 ⇒P.64)

■ 再生する

1. 「M」 ボタンを押し、メニューを表示させます。
2. 「映像再生」を選択し、「OK」 ボタンを押します。
3. 再生したいフォルダを選択し「OK」 ボタンを押します。
4. 再生したいファイルを選択し「OK」 ボタンを押します。
映像の再生が始まります。

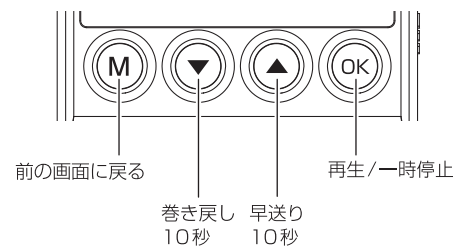


ファイルの再生

■ 再生画面



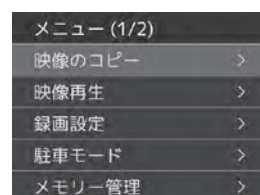
● 再生画面のボタン操作



メニュー

■ メニュー表示

本機の設定を変更できます。
常時録画中に「M」ボタンを押すとメニューが表示されます。
「▼/▲」ボタンで項目を選び、「OK」ボタンで決定します。
※メニュー表示中は録画を停止します。
※一定時間操作をしないと録画画面に戻ります。
※設定を変更するために、録画先のフォーマットや再起動が必要な項目があります。



● 映像のコピー

録画先を内蔵メモリーに設定しているときに表示されます。
内蔵メモリーに保存された映像をmicroSDカードにコピーします。
(⇒P.44)

● 映像再生

本機で録画した映像を再生します。
(⇒P.46)

● 録画設定

常時Gセンサー（初期設定：普通）
常時録画中のGセンサー感度を設定します。
オフに設定すると常時録画中の衝撃検知を行いません。
※感度を高く設定すると、小さな衝撃などでもGセンサーが検知する場合があります。

メニュー

● 録画設定（つづき）

明るさ（初期設定：0）
録画映像の明るさを設定します。
※変更後は再起動します。
-1：暗い～1：明るい

HDR（初期設定：オフ）
フロントカメラのHDR（ハイダイナミックレンジ）機能を設定します。
明暗差が激しい映像でも白飛び、黒潰れを補正します。
※変更後は再起動します。

音声録音（初期設定：オン）
録画ファイルに音声を録音するか設定します。

リア左右反転（初期設定：オフ）
リアカメラの表示、録画映像を左右反転した鏡像に切り替えます。
※変更後は再起動します。

● 駐車モード

駐車モード設定（初期設定：オフ）
駐車モード機能を設定します。
駐車モードをオンにすると各録画方式の割り当てが変更されます。また、駐車モード関連の設定項目が表示されます。
(録画容量の割り当て⇒P.36、録画時間⇒P.37)
※変更には録画画面に戻り、フォーマットが必要です。フォーマット後再起動します。

駐車Gセンサー（初期設定：普通）
駐車録画のGセンサー感度を設定します。
※感度を高く設定すると、小さな衝撃などでもGセンサーが検知する場合があります。

メニュー

● 駐車モード (つづき)

動体検知 (初期設定：普通)

駐車録画の動体検知感度を設定します。
フロント/リアカメラの両方で検知します。

電圧管理 (初期設定：12.2V/24.2V)

車両のバッテリー電圧が設定した電圧より低下すると、駐車モードを終了します。

※電圧管理がオフタイマーより優先されます。

12V時：11.8/12.0/12.2/12.4V

24V時：23.8/24.0/24.2/24.4V

温度管理 (初期設定：70℃)

本機の温度が設定温度以上になると駐車モードを終了します。

オフタイマー (初期設定：1時間)

設定した時間経過後に駐車モードを終了します。

1/3/6/12時間

● メモリー管理

録画先 (初期設定：内蔵メモリ)

録画先を設定します。

※録画用に使用できるmicroSDカードは16GB以上です。

※変更には設定する録画先のフォーマットが必要です。

※録画先はリセットを行っても初期設定に戻りません。

録画先フォーマット

録画先をフォーマットします。

※すべてのデータが削除されます。

(⇒P.42)

メニュー

● メモリー管理 (つづき)

SDカードフォーマット

録画先を内蔵メモリに設定しているときに表示されます。

映像コピー用のmicroSDカードをフォーマットします。

※すべてのデータが削除されます。

● 環境設定

時計表示 (初期設定：オフ)

設定した時間、操作がないと時計画面を表示します。(⇒P.23)

無線LAN (初期設定：オフ)

アプリと接続する場合はオンにします。一定時間、通信が行われないと自動的にオフになります。

現在のSSID、パスワードを表示します。

ボリューム (初期設定：3)

音声案内、操作音などの音量を設定します。

オフにするとすべての音が出なくなります。

1：音量小 ～ 4：音量大

音声案内 (初期設定：オン)

動作状況を音声で案内するか設定します。

カメラ画面切替

フロント/リアカメラの映像を切り替えて録画画面に表示します。

日付と時間

日付と時刻を設定します。

※GPS衛星から信号を受信すると、自動で日付と時刻を合わせます。

言語 (初期設定：日本語)

表示言語や音声を切り替えます。

メニュー

● 環境設定 (つづき)

リセット

本機の設定を初期設定に戻します。

※変更後は再起動します。

※無線LANのSSID、パスワードも初期設定に戻ります。

※録画先はリセットを行っても初期設定に戻りません。

バージョン

本機のソフトウェアバージョンを表示します。

● SDカードフォーマット

録画先をSDカードに設定しているときに表示されます。

録画用に使用しているmicroSDカードをフォーマットします。

※すべてのデータが削除されます。

ソフトウェアのアップデート

ソフトウェアの更新時には、慶洋エンジニアリングのホームページ上でお知らせいたします。

■ アップデートする

1. 慶洋エンジニアリングのホームページ
(<http://www.keiyoeng.co.jp/>) へPCからアクセスします。
2. ソフトウェアアップデートを確認し、ファイルをパソコンにダウンロードします。
3. ダウンロードしたアップデートファイルをmicroSDカードの最上階層にコピーします。
4. microSDカードを本機に挿入し、電源をオンにします。
5. アップデートを開始します。
アップデート中は画面に進捗が表示されます。

アップデート

開始→終了まで点灯

アップデート中に点灯



6. アップデートが完了すると再起動します。

⚠ アップデート中は絶対に電源を切らないでください

アップデート中に電源を切ると、ソフトウェアが破壊され起動できなくなる可能性があります。

アプリ

アプリをインストールすることでスマートフォンと無線LAN接続できます。
録画中の映像確認やファイル管理、各種設定が行えます。

アプリ名：無線LAN DVR4

対応OS
iOS：12.1以上
Android：7以上



無線LAN DVR4
アイコン

※対応したすべてのスマートフォンの動作を保証するものではありません。OSのバージョンや機種により動作しない場合があります。また、お手持ちのスマートフォンの使用状況や環境によって正常に動作しない場合があります。

■ アプリをインストールする

App Store、またはGoogle Playで【無線LAN DVR4】を検索してインストールします。

アプリは無料でインストールできます。

※データ通信料は発生します。

QRコードでのダウンロード



Apple、Appleのロゴ、iPhone、iPadは、米国もしくはその他の国や地域におけるApple Inc.の商標です。

App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

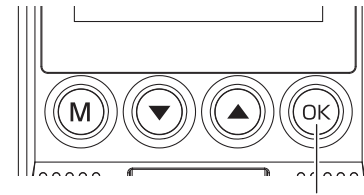
AndroidはGoogle LLCの商標です。

Google PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。

アプリ

■ 本機とスマートフォンを接続する

1. 録画画面で「OK」ボタンを長押しして、無線LAN機能をオンにします。



「OK」ボタン
長押し：無線LANオン/オフ

※無線LANオン中にエンジンを停止（電源オフ）した場合、次回エンジン始動時（電源オン）は無線LANはオフになります。

※スマートフォンと接続しないときは無線LAN機能を必ずオフにしてください。スマートフォンの設定によっては本機と自動的に接続される場合があり、ほかのネットワークと接続できなくなります。

※無線LAN機能はオンしてから一定時間、通信が行われないと自動的にオフになります。

アプリ

■ 本機とスマートフォンを接続する（つづき）

2. 接続するスマートフォンのWi-Fi機能をオンにします。
※Wi-Fi機能の操作は、お手持ちのスマートフォンの取扱説明書をお読みください。
3. 接続するリストに「UP-E093」が表示されますので、選択してパスワードを入力します。
※Android 機器によっては「インターネット接続がありません」と表示されることがありますが、接続は完了しています。接続維持を確認する表示が出た場合は「はい」を選択してください。



• 初期設定
SSID (名称) : UP-E093
パスワード : 12345678

4. アプリを起動します。
本機と接続されると、アプリ画面上部に「UP-E093」と表示されます。

アプリ画面



アプリ

■ 操作画面の構成

ドライブレコーダー側の画面に「APモード」と表示される項目は録画を停止します。(現在の映像、録画映像、CerDR設定)
※お使いのスマートフォンやアプリのバージョンによって表示が異なる場合があります。
※本紙では android の画面で説明をしています。



① 接続先

現在接続されているドライブレコーダーのSSIDが表示されます。

② 現在の映像

カメラ映像が確認できます。フロント/リアカメラを選択します。
※映像送信時にデータを圧縮するためスマートフォン上の映像にはタイムラグが発生し、画質は低下します。

③ 無線LAN設定

ドライブレコーダーのSSID・パスワードの確認と変更が行えます。(⇒P.58)

④ 録画ファイル

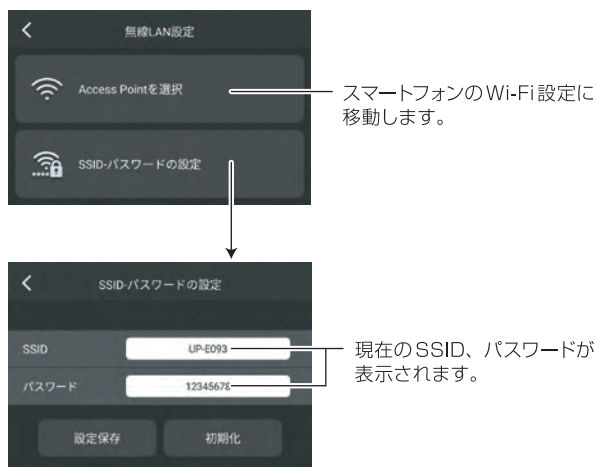
ドライブレコーダーで撮影した録画ファイルの確認、管理が行えます。フロント/リアカメラを選択します。(⇒P.60)

⑤ CerDR設定

ドライブレコーダーの設定が変更できます。(⇒P.62)

アプリ

■ 無線LAN設定



●SSID、パスワードの変更方法

1. 「無線LAN設定」→「SSID-パスワードの設定」をタップします。
2. 変更するSSID、またはパスワードを選び英数字を入力します。
3. 「設定保存」をタップします。
3. 本機へ変更内容が適用され、再起動します。スマートフォンのWi-Fi設定を一度削除して、新しいSSID・パスワードで再度接続してください。

アプリ

■ 無線LAN設定 (つづき)

●本機でSSID、パスワードの確認

SSID、パスワードは本機でも確認できます。

メニューを開き、「環境設定」→「無線LAN」を確認すると現在のSSID、パスワードが表示されます。(メニュー⇒P.51)

●SSID、パスワードの初期化

1. 「無線LAN設定」→「SSID-パスワードの設定」をタップします。
2. 「初期化」をタップするとSSID、パスワードが初期設定値に戻ります。
3. 「設定保存」をタップします。
4. 本機へ変更内容が適用され、再起動します。スマートフォンのWi-Fi設定を一度削除して、新しいSSID・パスワードで再度接続してください。

アプリ

■ 録画ファイル

本機で録画したファイルの再生や、ファイルをスマートフォンへ保存することができます。

※録画ファイルの表示中は録画を停止します。



ドライブレコーダー内の録画ファイル

本機内に保存されている録画ファイルを確認します。フロント / リアカメラを選択します。

再生した録画映像ファイル

「ドライブレコーダー内の録画ファイル」で再生したファイルが保存されます。フロント / リアカメラを選択します。

アプリ

■ 録画ファイル(つづき)



① 並び替え

ファイルリストに表示する録画ファイルの表示順を切り替えます。(日時の昇順、降順)

② ファイルリスト

ファイルを選択して再生、保存、削除が行えます。
本機の録画先を「内蔵メモリ」にしている場合はSDカードへコピーができます。

再生

スマートフォンに録画ファイルをダウンロードして再生します。再生した録画ファイルは「再生した録画ファイル」に保存されます。

保存

録画ファイルをスマートフォンに保存します。

※ファイルの保存先

iOS：写真フォルダー内

Android：内部ストレージ/Download フォルダ内

③ 常時 / 衝撃 / 手動 / 駐車 フォルダ

ファイルリストに表示する録画ファイルの種類を選択します。

④ 編集

複数のファイルをまとめて削除できます。

本機の録画先を「内蔵メモリ」にしている場合はSDカードへコピーができます。

アプリ

■ CerDR 設定

本機の設定を変更できます。
アプリから変更できる項目は本機メニュー内の一部です。各項目の説明は「メニュー」のページでご確認ください。(メニュー⇒P.48)
※設定を変更するために、録画先のフォーマットや再起動が必要な項目があります。
※CarDR 設定の表示中は録画を停止します。



変更後「設定保存」をタップします。

MEMO

専用ビューア

ビューアソフトではmicroSDカードに保存された映像や走行した位置、速度、Gセンサー情報の表示が行えます。

内蔵メモリーに保存した映像をビューアソフトで再生するには、microSDカードに映像をコピーしてください。(⇒P.44)

本機で録画した映像は一般の動画再生プレーヤーでも再生できますが、走行位置やGセンサー情報は表示されません。

ビューアソフトは慶洋エンジニアリングのホームページよりダウンロードします。

[<http://www.keiyoeng.co.jp/manuals/download.html>]

※走行した位置を確認するにはインターネットの接続環境が必要です。接続していないときは地図が表示されません。

● 動作条件

対応OS	Windows 8.1/10 (32bit/64bit)
CPU	Intel Core i5以上
GPU	DirectX 11.0c以上が動作すること
メモリー	8GB以上
HDD 空き容量	8GB以上
ディスプレイ	WXGA (1280×768) 以上
サウンド	Windowsで動作可能な再生機能
その他	・インターネット接続環境 ・microSDHC/SDXCカードを接続可能なメモリーカードリーダー、ライター

※条件を満たしたすべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。

※お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

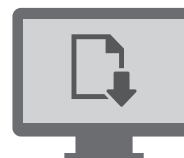
専用ビューア

■ ビューアソフトをインストールする

1. ビューアソフトは、弊社ホームページからダウンロードします。

ダウンロードURL

[<http://www.keiyoeng.co.jp/manuals/>]



ダウンロードファイル

2. 「DVPlayer_2A_ver_xxxx.exe」をダブルクリックします。
※ダウンロードしたファイルが圧縮されている場合は展開してください。
※ver_xxxxにはバージョンが番号が入ります。



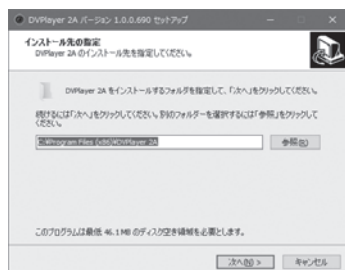
ビューアソフト インストールパッケージ

専用ビューア

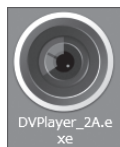
■ ビューアソフトをインストールする (つづき)

3. セットアップウィザードが表示されますので、内容を確認し「次へ」をクリックします。

以降は画面の指示に従い、インストールを進めます。



4. インストールが終わるとデスクトップにショートカットアイコンが作成されます。



ビューアソフトアイコン

専用ビューア

■ 操作画面の構成



- ①カメラ
再生映像のカメラ種類を表示します。
- ②左右反転
再生映像の左右を反転させます。
- ③上下反転
再生映像の上下を反転させます。
- ④表示切り替え(フロント、リア)
再生する映像をフロントカメラ、リアカメラに切替えます。
- ⑤全画面表示
パソコン画面のビューアをフルスクリーンで表示します。
- ⑥再生画面
ファイルを再生すると映像が表示されます。
- ⑦時間調整
再生する映像の全体時間と再生部分の時間の調整できます。
- ⑧速度表示
GPS信号から算出した速度を表示します。※実際の速度とは異なることがあります。
- ⑨Gセンサー数値
再生映像の車両のGセンサー数値を表示します。
- ⑩Gセンサーグラフ
Gセンサーのグラフ表示。

専用ビューア

■ 操作画面の構成 (つづき)

⑪コントラスト調整

撮影データのコントラスト調整します。

⑫明るさ調整

撮影データの明るさ調整します。

⑬音量

スピーカーアイコンをクリックするとミュート(消音)します。バーをクリックしたまま左右操作で再生音量を調整します。

⑭再生速度

撮影データの再生速度を変更できます。

⑮前のファイル

プレイリストで選択されている前のファイルを再生します。

⑯再生/一時停止

プレイリストで選択されているファイルを再生します。

⑰停止

再生しているファイルを停止します。

⑱次のファイル

プレイリストで選択されている次のファイルを再生します。

⑲走行位置表示

インターネットの地図上に走行位置を表示します。

※インターネットの接続環境が必要です。接続していない時は表示されません。

※通信ネットワークの混雑状況により地図が表示されない場合があります。

※GPS衛星からの信号の受信状況によって、実際に走行した位置と地図上の位置にズレが生じたり、正しく表示されない場合があります。

※位置情報が記録されないファイルを再生した場合は表示されません。

再生映像の位置(緯度、経度)を表示します。



画面を地図の形で表示



画面を航空写真の形で表示

専用ビューア

■ 操作画面の構成 (つづき)

⑳ファイルを開く

録画したファイルを開きます。



「ファイルを開く」をクリックします。

ダイアログが表示されますので、読み込むファイルがあるフォルダを選択します。

㉑プレイリスト

ビューアに読み込んだファイルを表示します。

プレイリスト					
	すべて	常時	衝撃検知	手動	パーキング
No.	ファイル名	ファイル日付	サイズ	タイプ	
1	EVEN201102-17356	2020-11-02 17:32:56	54MB	衝撃検知	
2	EVEN201102-17366	2020-11-02 17:36:05	54MB	衝撃検知	
3	EVEN201102-17405	2020-11-02 17:40:45	54MB	衝撃検知	
4	EVEN201102-17405	2020-11-02 17:40:05	54MB	衝撃検知	
5	EVEN201102-19409	2020-11-02 19:46:09	54MB	衝撃検知	
6	PARK201102-20152	2020-11-02 20:15:32	54MB	パーキング	
7	PARK201102-20162	2020-11-02 20:16:29	54MB	パーキング	
8	PARK201102-20171	2020-11-02 20:17:17	54MB	パーキング	
9	EVEN201102-20214	2020-11-02 20:17:40	54MB	衝撃検知	
10	PARK201102-20252	2020-11-02 20:20:52	54MB	パーキング	
11	EVEN201102-20267	2020-11-02 20:20:57	54MB	衝撃検知	

専用ビューア

■ 操作画面の構成 (つづき)

②操作アイコン



④キャプチャーアイコン

アイコンをクリックすると再生中の録画画面をキャプチャーします。ファイル名と保存先が変更できます。

⑤インフォメーション

専用ビューアのバージョン情報を表示します。パソコンの仕様による再生に問題が発生する場合はハードウェアアクセラレーション機能のチェックを外して再度再生して下さい。

⑥最小化

PCビューアを最小化します。

⑦終了

PCビューアを終了します。

専用ビューア

■ 操作画面の構成 (つづき)

③プレイリスト



⑧すべて

ファイルリストに全ファイルが表示されます。

⑨常時

ファイルリストに常時録画ファイルのみが表示されます。

⑩衝撃検知

ファイルリストに衝撃検知録画ファイルのみが表示されます。

⑪手動

ファイルリストに手動録画ファイルのみが表示されます。

⑫パーキング

ファイルリストに駐車録画ファイルのみが表示されます。

専用ビューア

■ 操作画面の構成 (つづき)

① ファイルコピー

アイコンをクリックすると再生中の録画ファイルをコピーします。



保存先を選択し「OK」をクリックするとファイルを保存できます。

専用ビューア

■ 動画の再生

本機で録画した映像を専用ビューアを使い再生します。

1. ドライブレコーダー本体から抜いた microSD カードを、付属の SD カードアダプターやカードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。
2. デスクトップの「DVPlayer 2A」のショートカットアイコンをダブルクリックして、専用ビューアを起動させます。



← 専用ビューアアイコン



製品仕様

本体（フロントカメラ）

カメラ	センサー	CMOS 約500万画素
	記録画角	水平：120° / 垂直：75° / 対角：135°
	F値	F2.0
録画サイズ	WQHD (2560×1440)	
フレームレート	27.5fps	
録画ファイル	常時録画 / 手動録画 / 衝撃検知録画 / 駐車録画	
録画時間 (1ファイル)	常時録画：約1分 手動録画 / 衝撃検知録画：約30秒（前5秒、後25秒） 駐車録画：約30秒（前5秒、後25秒）	
駐車録画	車両 バッテリー	オフタイマー設定：1/3/6/12時間 電圧設定：11.8/12.0/12.2/12.4V 23.8/24.0/24.2/24.4V
	検知方法	衝撃検知 / 動体検知
画面サイズ	2インチ	
音声録音	オン / オフ 切り替え可能	
GPS	内蔵	
Gセンサー	オフ、非常に鈍感～非常に敏感：5段階	
記録媒体	内蔵メモリー	eMMC：32GB
	メモリー カード	microSDHCカード：8～32GB microSDXCカード：64GB スピードクラス CLASS10以上 8GBは映像のコピーのみ 録画用は16GB以上
電源	DC12/24V（12V時 最大 約600mA）	

製品仕様

本体（フロントカメラ つづき）

サイズ	約62(W)×98(H)×52(D) mm
重さ	約156g（ケーブル/ブラケット含む、microSDカード含まず）
録画方式	MP4 (H.265)
無線LAN	IEEE 802.11b/g/n、使用周波数帯：2.4GHz
動作温度範囲	-10℃～60℃

リアカメラ

カメラ	センサー	CMOS 約200万画素
	記録画角	水平：105° / 垂直：55° / 対角：120°
	F値	F2.2
録画サイズ	FULLHD (1920×1080)	
フレームレート	30fps	
サイズ	約70(W)×30(H)×28(D) mm	
重さ	約29g	
動作温度範囲	-10℃～60℃	

保証書

■ 保証規定

- 取扱説明書の注意書に基づくお客様の正常なご使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合、無料にて故障箇所の修理をさせていただきますので、お買い上げ販売店に本保証書を添えてお申し出ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責任を負わないものとします。
- 海外で使用された場合、あるいは不当な改造については当社は一切の責任を負わないものとします。
- 修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、または送付される場合の送料、取り付け、取り外し費用及び諸掛かりはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包の上、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段（簡易書留や宅配など）をご利用ください。
- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書に保証期間、品名、販売店、お買い上げ日の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損害の場合。
 - お客様による使用上の誤り、あるいは修理による故障および 損傷。
 - 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災事変、事故、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
 - 本製品に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
 - 正常なご使用方法でも消耗品が自然消耗、摩耗、劣化した場合。
- ご不明の点は、お買い上げ販売店にご相談ください。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

保証書 (書き込み欄)

持ち込み修理

本書は、本書記載内容により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に万一故障が発生した場合は、本書を提示の上お買い上げの販売店、または株式会社アプティに修理をご依頼ください。本書の再発行は行いませんので、紛失しないように大切に保管してください。※ microSD カードは消耗品のため、保証の対象外です。

品名	ドライブレコーダー
機種名	UP-E093
保証期間	お買い上げ日より3年間（本体）
	お買い上げ日： 年 月 日
販売店	店名
	住所
	電話

ご販売店様へ

この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。贈答品、記念品の場合も含めて必ず記入捺印してお客様にお渡ししてください。

販売元 株式会社アプティ
〒153-0043 東京都目黒区東山 1-5-4KDX 中目黒ビル 2F
https://upty.jp/
TEL : 03-6774-0191

製造元 株式会社慶洋エンジニアリング
〒105-0004 東京都港区新橋 6-13-1 第3長谷川ビル 5F
http://www.keiyoeng.co.jp/
お客様サービスセンター TEL : 03-3431-8194
受付時間 月曜日～金曜日（平日のみ）10:00～12:00/13:00～16:00

MEMO

MEMO